

Action

町田市立薬師中学校
第2学年
令和8年1月30日
第37号

都立推薦入試から学ぶ「準備」の大切さ

今週の月曜日と火曜日に、都立高校の推薦入試が行われました。校内では、推薦入試直前まで、何度も何度も面接練習や小論文の練習に取り組む3年生の姿が印象的でした。合格発表を待つ今の独特な緊張感を含め、これが「入試」というもののリアルな空気感です。

都立高校の推薦入試は、主に「調査書点（内申点）」「個人面接」「小論文または作文」の3つの要素で合否が判定されます。学校によっては「実技検査」や「文化・スポーツ等特別推薦」もあります。ここで誤解してはいけないのが、推薦入試は「運が良ければ受かる試験」ではないということです。多くの学校で倍率が2倍～3倍、人気のある高校ではそれ以上になることも珍しくありません。この狭き門を突破するために必要なのは、当日のテクニックだけではなく、中学3年間の「歩みの積み重ね」そのものなのです。

1年後、自分が推薦入試を受検するかどうかは現時点ではわかりません。しかし、もし推薦入試を受検することになるのであれば、今から意識して「準備」しておくことが3つあります。入試の直前に「やっておけばよかった」と後悔することがないように、今からできることをコツコツと積み重ねていきましょう。

①「考えを言葉にする力」を養う

面接では「なぜこの学校なのか」「中学校生活で何を学び、それをどう活かすのか」が詳しく問われます。これは、日頃から自分の考えを整理し、誰かに伝える練習をしていないと一朝一夕にはできません。まずは、授業の振り返りシートを自分の言葉で丁寧に書くことや、日直の反省で明るくハキハキと話すことから始めてみましょう。



②「日々の生活態度と学習」を積み重ねる

推薦入試において、内申点は大きな割合を占めます。3年生になってから頑張ればいいと考える人もいますが、3年生の成績は1年・2年の基礎の上に積み上がるものです。提出物の期限を守る、授業に主体的に参加する、定期テストに全力で取り組む。こうした当たり前の積み重ねが、1年後の自分を助ける習慣になります。



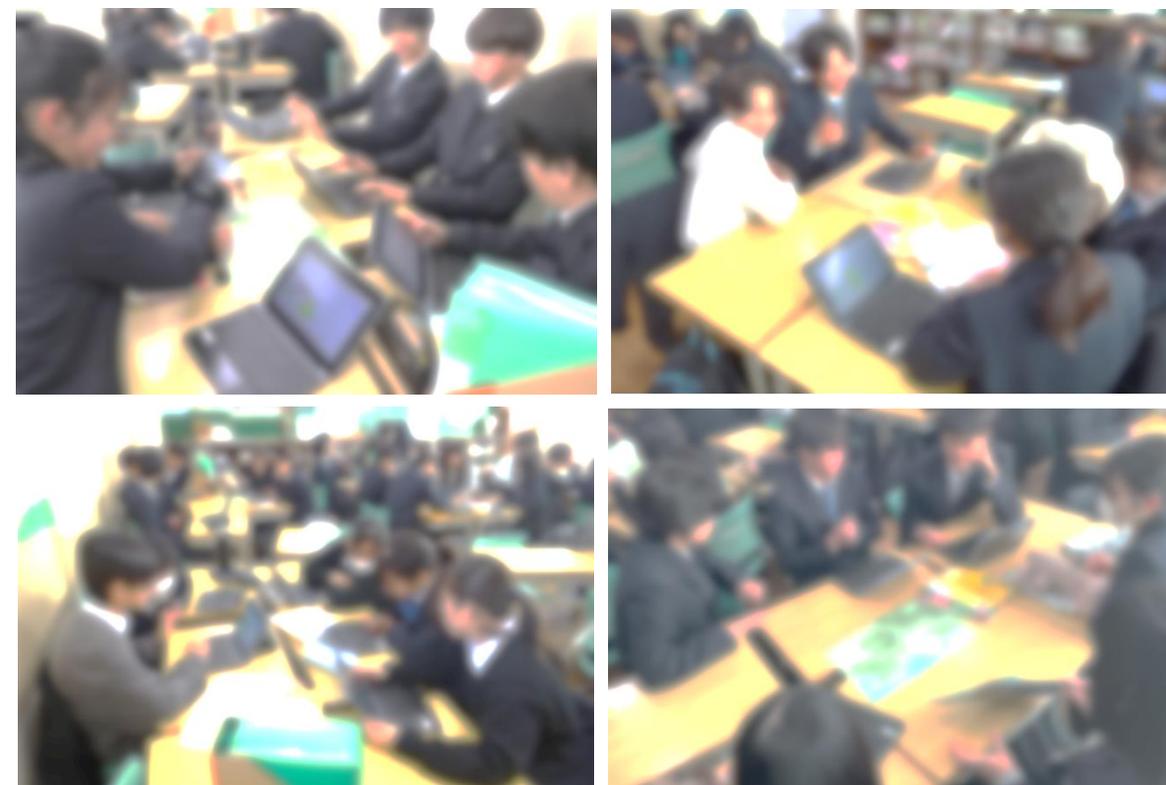
③「プラスアルファの活動」に打ち込む

委員会活動、部活動、学校行事、あるいは地域での活動など、何かに打ち込んだ経験は、面接や作文での強い武器になります。結果だけでなく、その過程で「どう悩み、どう解決したか」というエピソードが、あなたの人間としての魅力を形作ります。



鎌倉校外学習コース決め

総合的な学習の時間で、班ごとに鎌倉校外学習のコース決めを行いました。中学生になって初めてのコース決めだったため、どこに行くか、どの順番で巡るのか、徒歩で行くのかバスに乗るのか、交通費や拝観料はいくらかかるのか、移動時間や拝観時間はどれくらいかきそうなのかなど、自分たちで決めなきゃいけないことの多さと、班で意見を合わせる難しさにどの班も苦戦していたようですが、楽しそうに自分たちで行きたい場所を話し合う様子もみられ、コース決めはワイワイと和やかな雰囲気となりました。



<保護者の皆様へ>

日頃より本校の教育活動にご理解ご協力いただき、心より感謝申し上げます。
さて、2月13日に行う鎌倉校外学習ですが、ききょう学級を除く全ての班は「味亭」というお店で昼食をとります。その際、昼食代は教材費に含まれているため、当日に昼食代を持参する必要はありませんので、よろしく願いいたします。